平成 22 年 11 月 5 日

各　　位

会 社 名　　ユニコムグループホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　二 家　英 彰
（ＪＡＳＤＡＱ・コード８７４４）
問合せ先　　取締役管理部長　西 山　義 信
TEL　０３－５６２３－８７４４

平成23年3月期第2四半期連結累計期間業績見通しと前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成23年３月期第２四半期累計期間（平成22年４月１日～平成22年９月30日）の連結業績につきましては、平成22年11月12日予定の正式発表に向け、現在決算集計中であります。しかしながら、当社グループでは、株主様をはじめ、投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うことの一環として、決算集計の過程で取りまとめました連結業績の見通しを、下記のとおり開示することといたしました。

なお、当社グループは連結業績予想を開示しておりませんので、業績対比は前年同期比で行っております。

記

1．平成23年3月期第2四半期累計期間業績見通し（連結）

（金額の単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成23年３月期第２四半期連結累計期間業績見通し（Ａ）	2,657	△435	△220	76
平成22年３月期第２四半期連結累計期間実績（Ｂ）	3,302	△273	△183	△1,394
増減額（Ａ－Ｂ）　　（Ｃ）	△644	△161	△36	1,471
増減率（Ｃ）/（Ｂ）（%）	△19.5%	－	－	－
（参考）平成22年３月期実績	6,251	△896	△703	△2,031

２．連結業績概要および差異の生じた要因

当第２四半期連結累計期間（平成22年４月１日～平成22年９月30日）における当社グループの経営成績は、商品先物取引業及び証券業が減収となった事から、営業収益は前年同期比19.5%減となる2,657百万円となる見通しです。この結果、営業損失は435百万円（前年同期は273百万円の営業損失）、経常損失は220百万円（前年同期は183百万円の経常損失）となる見通しです。

また、平成22年７月29日付プレスリリース「固定資産の譲渡に関するお知らせ」におきまして、賃貸用不動産の一部譲渡による固定資産売却益を204百万円計上する予定である旨お知らせしておりましたが、仲介手数料等の諸費用（約22百万円）を控除する事としたため、当該固定資産売却益の計上額は182百万円となりました。この結果、当第２四半期連結累計期間の純利益は76百万円（前年同期は1,394百万円の純損失）となる見通しです。

なお、主な事業部門の業績見通しは以下のとおりです。

① 商品先物取引業

当第２四半期連結累計期間における国内商品先物市場は、市場流動性の低下による相場の乱高下が嫌気され、個人投資家が取引を手控えたことが主な原因となり、全国商品取引所出来高は前年同期比10.6%減となりました。

当社グループにおきましては、上記市況の影響を大きく受け、個人委託者による取引が伸び悩んだことから、主要市場である貴金属、石油及び農産物の各市場における委託売買高が前年同期を下回ることとなり、結果、商品先物取引業収益は前年同期比12.7%減となる1,291百万円となる見通しです。

② 金融商品取引業（証券業）

当第２四半期連結累計期間における国内株式市場は、４月初めに日経平均株価が11,400円台まで上昇したものの、その後は欧州発の財政不安や急速に進行する円高などの影響により上値の重い展開が続き、日経平均株価は9,000円台前半から半ばで推移いたしました。

当社グループにおきましては、上記市況の影響を大きく受け、個人投資家の取引が手控えられた事から証券委託手数料収入が減収となり、結果、証券業収益は前年同期比24.2%減となる1,192百万円となる見通しです。

(注) 上記お知らせの内容は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、当該数値と異なる可能性がありますので、お含み置きください。

以　上